



TOHO IR Report

TOHO animation作品を中心に、大幅な業績回復を達成 創立100周年に向け、 「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」をスタート

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第133期（2021年3月1日から2022年2月28日まで）の業績等につきまして、
ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長
松岡宏泰



このたび、5月26日付で代表取締役社長に就任いたしました松岡宏泰でございます。新たに代表取締役会長に就任した前社長の島谷と共に、当社グループの成長と発展のために専心努力いたします所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、当社グループをめぐる経営環境は、いまだ収束の見えない新型コロナウイルス感染症に加え、地政学的リスクの高まりを受けた世界経済の混乱がもたらす様々な影響が懸念され、先行きの見通しは不透明感を増しております。このような厳しい環境下においても、当社グループの各映画館や演劇劇場は、適切な感染防止策を講じながら、安全・安心を優先した事業継続に努力を重ねてまいりました。

映画事業においては、劇場用映画『シン・エヴァンゲリオン劇場版』『名探偵コナン 緋色の弾丸』『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ワールドヒーローズミッション』が大ヒットを記録し、さらに昨年12月公開の『劇場版 呪術廻戦 0』は興行収入135億円を超えるメガヒットとなりました。また、久しぶりの洋画大作となった東宝東和配給『ワイルド・スピード/ジェットブレイク』『007/ノー・タイム・トゥ・ダイ』も高稼働いたしました。映像事業においては、「呪術廻戦」「ウマ娘

プリティーダービー Season 2」「僕のヒーローアカデミア」といったTOHO animationの各作品が、Blu-ray等の販売や商品化ライセンス、国内外での配信等の多面的な展開により、業績を大きく牽引する特筆すべき成果をあげました。

演劇事業においては、コロナ禍の難しい環境の中、『レ・ミゼラブル』『ナイツ・テイル 騎士物語』といった人気ミュージカル作品をほぼ予定通り上演することができ、ライブならではの感動を多くのお客様にお届けすることができました。

不動産事業でも、商業テナントの厳しい状況は続きましたが、きめ細かい対応により堅調な業績を収めることができました。

これらの結果、当社グループの第133期決算は、営業収入2,283億6千7百万円（前年度比19.0%増）、営業利益399億4千8百万円（同78.0%増）、経常利益427億9千万円（同76.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益295億6千8百万円（同101.3%増）と大幅な増収増益を達成いたしました。

第134期についても、新型コロナウイルス感染症の影響は継続すると思われますが、これまでの経験値も踏まえ、各事業において柔軟かつ機動的な対応を行いながら着実な業績向上に努めてまいります。通期の業績見通しは、営業収入

2,320億円、営業利益380億円、経常利益410億円、親会社株主に帰属する当期純利益285億円を見込んでいます。

また、このたび当社グループは、創立100周年を迎える2032年に向けた「長期ビジョン 2032」と、今後3カ年の具体的な施策である「中期経営計画 2025」から構成される「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」を策定し、スタートさせました。

「長期ビジョン 2032」では、新たなコーポレート・スローガン「Entertainment for YOU 世界中のお客様に感動を」を掲げ、これまで以上に長期的な視点に立った明確な成長戦略を策定いたしました。また、「中期経営計画 2025」では、今後3年間で「コロナ禍からの回復と次なる飛躍の成長への基盤固めの期間」と位置づけ、「成長投資」に軸足を置きながら、映画、アニメ、演劇、不動産の各事業において、個別の戦略に基づいた取り組みを着実に推進してまいります。

当社グループは、これらの経営戦略に基づき、さらなる成長と中長期的な企業価値向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

Financial Highlights 連結財務ハイライト

より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

アドレスはこちら>><https://www.toho.co.jp/company/ir/>

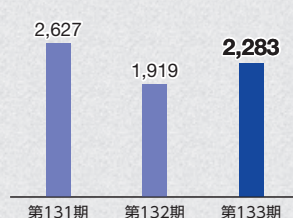
営業収入
2,283億円
(前年度比19.0%増)

営業利益
399億円
(前年度比78.0%増)

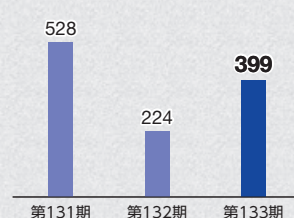
経常利益
427億円
(前年度比76.9%増)

親会社株主に帰属する
当期純利益
295億円
(前年度比101.3%増)

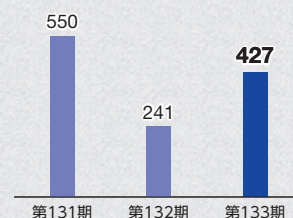
▶▶営業収入 (億円)



▶▶営業利益 (億円)



▶▶経常利益 (億円)



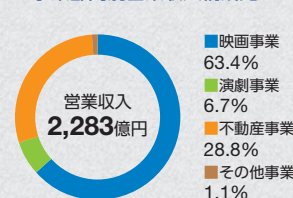
▶▶親会社株主に帰属する
当期純利益 (億円)



▶▶総資産/純資産 (億円)



▶▶事業部門別営業収入構成比



Coming Soon 公開予定作品および公演予定作品

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、下記の作品を始めとする幅広いラインナップをお届けしてまいります。
(当資料は4月28日時点での情報を基に作成しております。コロナ禍の影響によってラインナップに変更が生じる可能性があります。)

● 映画事業



『キングダム2 遥かなる大地へ』
7月15日公開予定
©原泰久/集英社
©2022 映画「キングダム」製作委員会

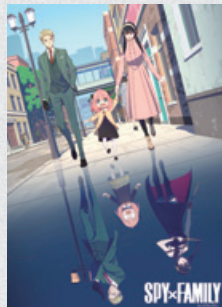


『ゴーストブック おばけずかん』
7月22日公開予定
©2022「GHOSTBOOK おばけずかん」
製作委員会



『ミニオンズ フィーバー』
7月15日公開予定
© 2021 Universal Studios.
All Rights Reserved.

● アニメ事業



TVアニメ「SPY×FAMILY」
テレビ東京他にて放送・
各種動画サービスにて配信中
©演藤達哉/集英社・SPY×FAMILY
製作委員会

● 演劇事業



『CROSS ROAD クロスロード
～悪魔のヴァイオリニスト バガニーニ～』
6月7日～30日予定
シアタークリエ公演



『ミス・サイゴン』
7月24日～8月31日予定
帝国劇場公演

Topics トピックス

当社は、「TOHO VISION 2032 東宝グループ 経営戦略」として、
「長期ビジョン 2032」および「中期経営計画 2025 (FY2023-2025)」を策定いたしました。

パーパス 健全な娯楽を広く大衆に提供すること

2022年

2025年

2032年

『長期ビジョン 2032』

「Entertainment for YOU 世界中のお客様に感動を」をコーポレート・スローガンとして掲げ、
2032年の創立100周年に向け、自らの変化と進化を促し、さらなる成長と企業価値向上を目指す

『中期経営計画 2025』

コロナ禍からの回復と次なる飛躍的成長への基盤固めの期間

2032年2月期

営業利益
750～1,000億円
ROE
8～10%程度

長期ビジョンに向けた3つの重要ポイント

1

成長に向けた「投資」を促進

コンテンツの企画開発・
IP創出と展開に対する投資を強化、M&Aも検討

2

「人材」の確保・育成に注力

外部からのキャリア採用等により
人材を増強、積極的に処遇・活用

3

アニメ事業を「第4の柱に」

映画事業とアニメ事業を両輪で展開、
相乗効果によりIPの価値を最大化

企画&IPをあらゆる価値の源泉として、その中でもアニメーションを成長ドライバーにし、
デジタルの力で時間・空間・言語を超え、海外での飛躍的成長を実現すべく、果敢に挑戦していきます。

「TOHO IR Report」の 郵送廃止のお知らせ

株主の皆様へご案内しております「TOHO IR Report」につきましては、地球環境等を配慮した省資源化の観点から、今号を持ちまして郵送を取り止めさせていただきます。来期より、書面の郵送に代えて、当社オフィシャルサイト (<https://www.toho.co.jp/company/>) に掲載させていただくことにいたしました。何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

≫株式の状況 (2022年2月28日現在)

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式の総数 186,490,633株
(自己株式9,414,544株を含む)
株主数 27,380名
(前期末比1,831名減)

≫株式事務のご案内

株主名簿管理人 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所
(郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-232-711 (通話料無料)

*証券会社で株を保有されている株主様は、ご利用の証券会社にお問い合わせください。

東宝株式会社

〒100-8415
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
総務部 電話 (03) 3591-1214
<https://www.toho.co.jp/>



見やすい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。